

中島公園の野鳥やエゾリス

一年を通じてマガモ、オシドリ、シジュウカラ、アカゲラ、メジロなど40種類以上の野鳥たちが中島公園を訪れます。



ウソ (1月頃～3月頃)

全長約15.5cm。スズメより一回り大きい小鳥です。オスは灰色と黒色、メスは茶色と黒色の配色ですが、オスの頬から喉には目立つ赤色(緋色)があります。日本では本州と北海道の山地の針葉樹林で繁殖し、冬には南下し平地の林でも見られます。口笛のような「フィーフィー」と高くよく通る鳴き声です。



マガモ (通年)

全長約59cm。カモの中間の代表種。オスは体が上下面とも淡褐色。遠目には白っぽく見えます。頭は緑色、胸は栗褐色、くちばしは黄色。尾には短いですが、黒色のカールした羽をもっています。脚は赤味のある橙色。メスは全身褐色で、黒褐色の模様で沢山あり、目立たない色彩をしています。



アカゲラ (11月頃～2月頃)

全長約24cm。黒色・白色・赤色の模様をした中型のキツツキ。翼の付根近くに大きな白斑があるのが特徴。黒色の翼には小さな白斑が多数出、飛んだ時に目立ちます。後頭部に赤色があるのはオス、頭に赤色がないのがメス、頭上が赤いのが幼鳥です。木の幹に縦に止まることが出来ます。「キョツ、キョツ」と短い音で鳴きます。



オシドリ (4月頃～10月頃)

全長約45cm(オス)、41cm(メス)。頭は横がらはさんだように扁平で、派手な冠羽など美しい色彩の羽毛を持つオスは、色彩の地味なメスと一緒にツガイでいることが多く、オシドリ夫婦の名の由来となっています。全国に分布、繁殖します。



ゴジュウカラ (9月頃～3月頃)

全長約13.5cm。頭から背・尾は灰青色。顔から胸は白色です。目を通る黒線がはっきりしています。頭を下にして木の幹を下りてくることが出来る特技があります。日本では、北海道から九州までの、よく繁った落葉広葉樹林にすんでいます。さえずりの「フィーフィーフィー」や地鳴きの「ピピピピ」など大きな声で鳴きます。



シジュウカラ (通年)

全長約14.5cm。体重は14gくらいです。日本ではほぼ全国に分布しています。平地から山地の林にすみませんが、市街地、住宅地で見られることも多い鳥です。木の穴に巣をつくりますが、人工的な狭い穴にもよくつくります。甲高い声で「チュチュパーチュチュパー」や「ツピーツピー」など約200種類以上の鳴き声があるとされています。



ダイサギ (11月頃～4月頃)

全長約89cm。全身は白色、くちばしは繁殖羽では黒色、非繁殖期は黄色をしています。脚も黒っぽい。アジア南部、豪州、南北アメリカなどに広く分布しています。日本には夏鳥として渡来し、本州～九州では繁殖しています。大きな木のある林に集団で営巣します。



カワラヒワ (3月頃～8月頃)

全長約13.5cm。全身黄色味のある褐色で、尾は魚尾型をしています。褐色の鳥に見えますが、飛翔時の翼の黄色帯は鮮やかによく目立ちます。「キリコロ キリコロコロ ピーーン」などと聞こえる声でさえずります。



ヤマガラ (9月頃～4月頃)

全長約14cm。背・翼の上面は灰色、腹は褐色。頭は黒色と白っぽい淡い褐色の模様です。体の大きさに比較し頭が小さく、尾は短め。主に日本に生息し、中国の一部、朝鮮半島、台湾などでも繁殖しています。日本では小笠原諸島を除き、ほぼ全国に分布し、留鳥として繁殖しています。ゆったりとした地鳴き「ピーピー」や「ツツピーツツピー」というさえずりでゆったりと鳴きます。



エゾリス (通年)

北海道に生息するリスの一種です。エゾリスは、北アメリカのグレイリスに近縁で、体長約20～24cm、尾の長さ約15～19cm程度の中型のリスです。冬の間は、食べ物や蓄えるためにあちこちにドングリや松ぼっくりなどを埋める行動が見られます。

